

2025年度(令和7年度) 熊野小学校研究構想図

学校教育目標 **自分が好き 友だちが好き 学校が好き**

目指す児童の姿 主体的に課題を発見し、自分で考え協働して解決することができる子ども。
育成する力 課題解決力 コミュニケーション力 粘り強さ。

研究テーマ ふるさとと関わり、ふるさとを愛する熊野っ子の育成
～獲得したスキルを活用できる学びを通して～

概況 生活科・理科を中心に単元のスキルを的確にした授業を展開し、科学的な思考力や、表現力も育めるとともに、身に付けたスキルを生かして地域学習に取り組みすることで、地域の自然や文化を愛し、貢献できる児童を育つだろう。

ふるさと学習(総合的な学習の時間・社会科・生活科等)

ふるさとを知る：熊野の自然、文化、歴史の探究 ふるさとと関わり：地域の人や施設との交流・感謝。

＜まなび＞

1. 単元のスキルを身に付ける

2. 単元のスキルを活用する

3. 身に付けたスキルを他教科や日常生活で活用する

レディネス学習

- 単元に入る前に、関連した前置事項を確認する。
- 自分で自分の得意なこと、苦手なことを知っている。

スキルを明確にした授業

- 単元を通して、何のスキルが身に付くのか分かっていく。
- 自分に必要な学習を自分で計画することができる。

身に付けたスキルの活用

- 身に付けたスキルを他教科や日常生活で活用する。
- スキルが生かされたことを実感している。

生活科	1-2年生	理科	3-4年生	理科	5-6年生
具体的な活動や体験を通して、自分自身や身近な人々、社会及び自然の仕組みや働き、関わり等に気づき、生き方を考えたり、表現したりするスキル		3年生：自然の事物・現象を産品や店舗店という観点から比較するスキル 4年生：自然の事物・現象の変化とそれにかかわる要因とを関係づけるスキル		5年生：自然の事物・現象をそれらにかかわる条件や目的を向けたり、量的変化や時間的変化に着目したりして調べるスキル 6年生：自然の事物・現象の変化や働きをその原因や結果性、関係性を探求しながら調べるスキル	

《児童の実態》

- 2024年度(令和6年度)校内児童アンケート 肯定評価。
 - ・周りの人の役に立ちたいと思っている 97.4%
 - ・授業を通してどんな力が付くか理解している 92.3%
- 令和6年度全国学力・学習状況調査(全国) 国語70%(67.7%)、算数61%(63.4%)

2025年度(令和7年度) 学校経営計画

持続可能な学校をつくる。
～「みんなで」を合言葉に、教職員が協働して取組を進める～

学校教育目標 **自分が好き 友達が好き 学校が好き**

めざす学校像

学びがおもしろい学校・主体的な学び
先生も子どもも自分らしく輝くことができる学校

めざす子ども像

自分で考える、決める、選ぶ・自律した子
思いやり・正直・礼儀・勤勉を大切にする子

めざす教師像

伸ばし育てる先生・子どもの姿から学び続ける
温かい先生・聴く寄り添う関わり切る

主体的に学ぶ子どもの育成(個別最適な学び)

【先生も子どもも自分らしく輝くために】

- ・先生の働き方改革とやりがいの両立
- ・子どもの興味・関心を引き出す単元開発
- ・居場所のある学級づくり
- ・教科担任制、TT、合同授業の導入

自己実現に向けて未来を切り拓く子どもの育成

【自律した子どもを育てるために】

- ・子どもの力を引き出す、伸ばす
- ・ICTソフトの導入と積極的な活用
- ・自分に必要な学習を考えた家庭学習の習慣化
- ・元気なあいさつ、無言掃除の徹底

子ども・保護者・地域に信頼される学校づくり

【保護者や地域とのつながりを大切にするために】

- ・教職員間での確実な情報共有・周知
- ・子どもの様子に即ちの丁寧な保護者連絡
- ・地域を巻き込んだダイナミックな単元開発
- ・学習ボランティアや外部講師招聘の積極的導入

「理科大好きスクール」～理科が好きな子どもと先生を育てる～

中学校区 主体的に課題を発見し、自分で考え、協働して解決することができる子ども

福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子ども

児童数

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	知	計
男	4	9	5	7	5	5	0	35
女	1	8	2	9	4	9	1	34
計	5	17	7	16	9	14	1	69

2025年度(令和7年度) 校内組織図 福山市立熊野小学校

